

回収・選別結果の取りまとめについて

1. 回収量（令和6年5～11月）

回収総量は5,006kgでした。

内訳としては、商業施設で3,787kg、オフィスで264kg、その他（イベント、レジデンス等）で955kgでした。

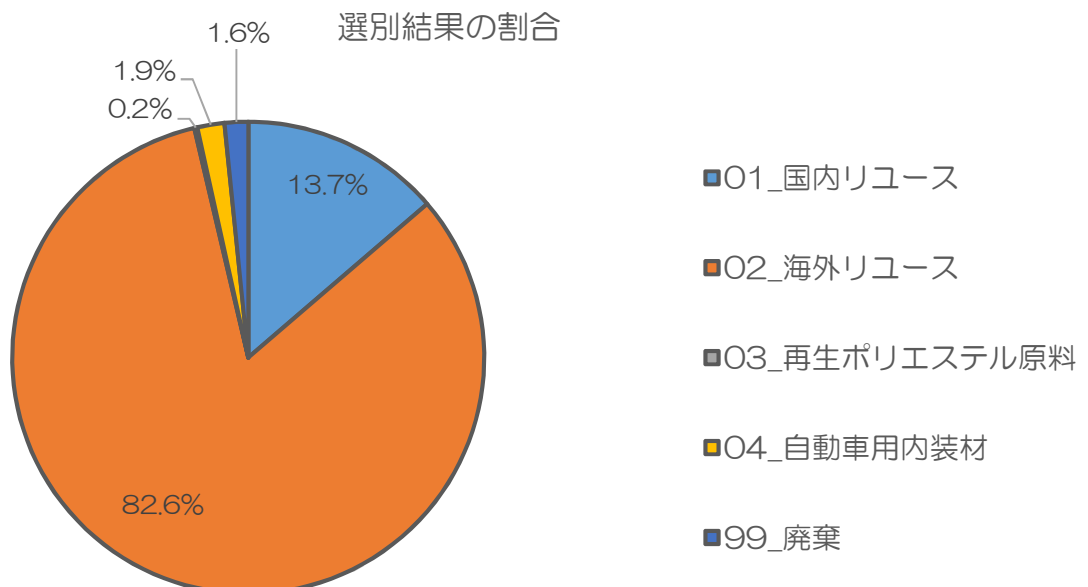
カテゴリー	回収重量 (kg)
商業施設	3,787
オフィス	264
その他（イベント、レジデンス等）	955
合計	5,006

2. 選別 ※回収された衣類のうち、選別まで終わった量について集計

リユース率は96.3%と非常に高く、続いてリサイクルは2.1%、廃棄が1.6%となりました。

選別(大項目)	重量(kg)	割合(%)	選別(小項目)	重量(kg)	割合(%)
リユース	2,542	96.3	国内リユース	362	13.7
			海外リユース	2,180	82.6
リサイクル	54	2.1	再生ポリエステル原料※1	5	0.2
			自動車用内装材	49	1.9
廃棄	42	1.6	廃棄	42	1.6
合計	2,638	100	合計	2,638	100

※1 回収した衣類のうちポリエステル100%の製品をリサイクルし、再生ポリエステルの糸や布とするもの



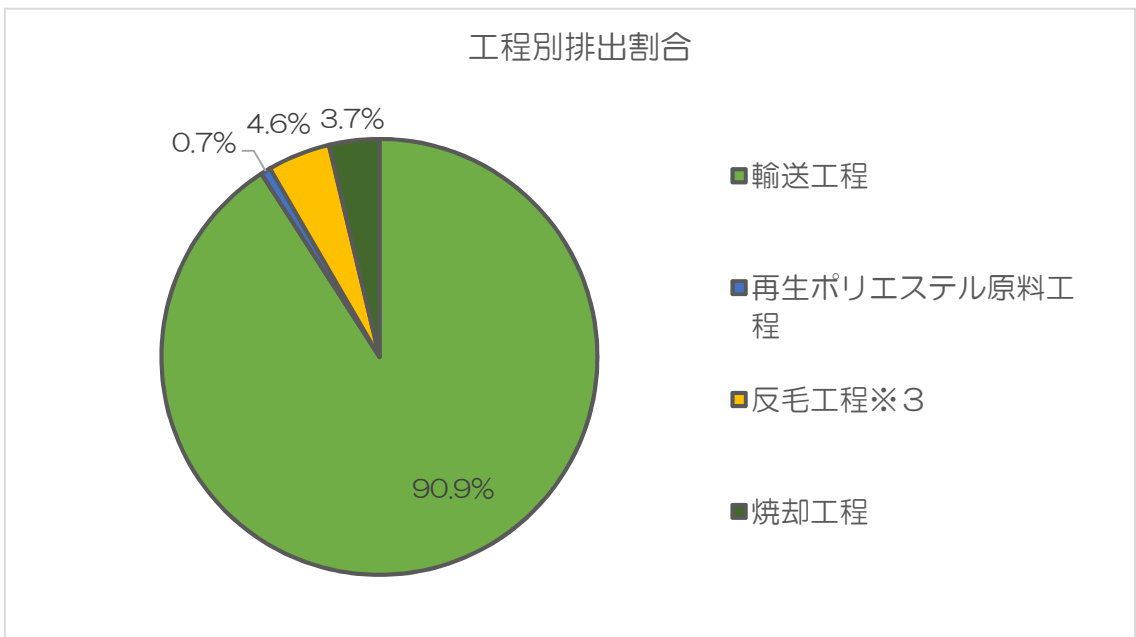
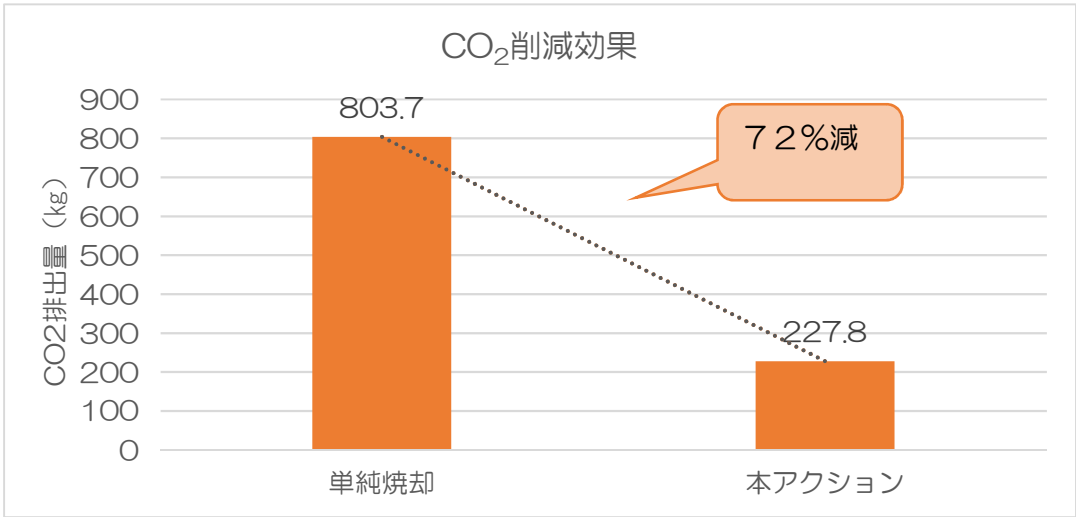
3. CO₂排出削減効果（令和6年5～9月回収分の実績値）

衣類を単純焼却した場合のCO₂排出量と比較したところ、575.9kg（72％）の削減となりました。

工程別排出割合では、輸送工程からの排出割合が9割以上と最も高く、次いで反毛工程（4.6％）、焼却工程（3.7％）となりました。

区 分	回収量（衣類のみ）	CO ₂ 排出削減割合 （単純焼却との比較）
名古屋市 （令和6年5月～9月）	1 t （令和6年5～11月では5t）	72%※2
（参考）全国 （令和5年10月～令和6年9月）	約 7,000t（全国での回収量）	80%

※2 全国値と比べて低いのは、循環センター（首都圏）までの輸送距離が長いから



※3 衣類を綿状に戻して繊維にしたもの。自動車内装材等に利用される。